

HPV(ヒトパピローマウイルス)について

当人間ドック婦人科では、HPV検査を精度の向上を目的として、オプション検査で実施しています。

<要点>

- *「HPV検査」は、子宮頸部の細胞がHPVに感染しているかを調べるウイルスの検査です。
- *従来、子宮頸がん検査は、子宮頸部の細胞に異常があるかどうかを顕微鏡検査で診る「細胞診」が行われて来ました。
- *この「細胞診」に加えて、「HPV検査」を併用することにより、子宮頸がん検査の精度が向上することがわかっています。

<詳細説明>

近年の研究により、子宮頸がんのほとんどが、HPVの感染(十数種類の型の関与が同定されています)によるものであることがわかってきました。HPVは、性交渉により誰にでも感染するありふれたウイルスで、性体験のある女性は、このウイルスに感染する可能性があります。ただ、感染しても、多くの方は免疫力などにより早期に陰性化(潜伏感染になる)されます。しかしながら、感染した女性のうちわずかな方は、HPVが陽性のまま持続感染し、その中のごく一部の方が子宮頸がんになる可能性があることが解明されてきました。

この研究をもとに、従来の「細胞診」に加えて、「HPV検査」を併用することにより、子宮頸がん検査の精度が向上することがわかっています。

<対象者>

別紙「HPV検査を希望される方へ」に記載された対象者にお勧めし、検査内容を説明していますので、併せてお読みください。

<補足>

なお、この検査で調べられる13種類の型以外のHPVが原因となっていることは否定できません。また、稀ではありますが、HPVが関与せず、発見が難しい子宮頸がんもあることが報告されています。

HPV 検査の申し込みを希望される方へ

当人間ドック婦人科ではオプション検査として、HPV検査を行っています。この検査では、子宮頸がんの原因となるHPV13種類の感染の有無がわかります。

HPV 検査の対象となる方は ①～③のすべてに当てはまる方です。

- ① 子宮(頸部)があり、子宮頸部細胞診を受ける方
- ② 性体験がある方
- ③ 検査時点で 30 才以上の方

検査方法

子宮頸部細胞診検査と同時に HPV 検査ができますので、この検査を追加しても、婦人科診察、検査方法については、手技的には細胞診検査のみの場合と変わりません。

HPV 検査結果について

HPV 検査結果は、ヒト・パピローマウイルスに感染しているか否かを「陽性」(感染している)か、「陰性」(感染していない、または以前、感染したがその後陰性化(潜伏感染)している)で表示します。

HPV 検査結果のお知らせ方法

「陽性」または「陰性」として、受診後に送付する健康診断結果表に記載します。

子宮頸がん検診の判定

細胞診と HPV 検査の両方の結果を踏まえて総合的に判定します。